



## ISMS基本方針

2012年6月1日制定

株式会社熊本セキュリティーエコロジーセンター

代表取締役社長 遠矢昭仁

版 SEC-001

(株) 熊本セキュリティーエコロジーセンターは、お客様の信頼の元に、お客様から業務委託を請けて、機密文書等細断処理、メディア媒体物破砕処理業務並びに事務用品の販売を行っています。今後業務を継続するには、当社の信頼を維持し、ブランドを築くことが重要です。当社では、お客様の信頼に応じてサービスを提供していくことを目的に、この「ISMS基本方針」を定め、当社が取り扱う資産の適切な保護対策を実施するための指針とします。この方針に沿って、情報セキュリティマネジメントシステムを確立し、導入、運用、監視、見直し、維持及び改善を行います。役員を含むすべての従業員は、この目的を理解し、当社のISMS基本方針ならびに確立した情報セキュリティマネジメントシステムの規定や手順を遵守することで、情報セキュリティ重視の考えで業務を遂行します。

### 【情報セキュリティの組織目的と維持】

1. お客様から委託され取り扱う資産の消失、盗難、不正使用、漏えいを防止することを、組織の目的とする。情報セキュリティとして、お客様から委託され取り扱う資産及び当社が取得した企業情報、個人情報、及び当社が保有する資産について、機密性、完全性、可用性を確保し、維持する。

### 【適用範囲】

2. 当社の事業のうち、機密文書等細断処理、メディア媒体物破砕業務並びに事務用品の販売とこれを支える経理・管理業務を、ISMSの対象とする。

### 【経営者の責任】

3. 経営者は、ISMSの基本方針及び目的を定め、専務取締役を情報セキュリティ管理責任者として任命する。経営者は、情報セキュリティマネジメントシステムの活動に必要な経営資源を提供する。経営者は、リスクアセスメントの枠組み、リスク受容基準、及びリスクの受容可能レベルを決め、リスクアセスメントの結果、残留リスク、管理策の採否結果、及び、構築された情報セキュリティマネジメントシステム、これらを推進するセキュリティ計画の承認、決定を行う。また、定期的な内部監査、マネジメントレビューを実施し、採用した管理策の有効性の評価、実施した改善の有効性の評価、リスクアセスメントの結果及びマネジメントシステムならびにこの基本方針を見直し、情報セキュリティマネジメントシステムの継続的な改善を実施する。

### 【管理者の義務】

4. 情報セキュリティ管理責任者は、ISMSの活動を推進し、各部門の担当者と共に、情報セキュリティマネジメントシステムを確立し、導入、運用、監視、見直し、維持及び改善を図る。

### 【資産の特定とリスクアセスメントおよび管理策の選択】

5. 情報セキュリティ管理責任者及び担当者は、事業上取り扱う個人情報や企業秘密情報を特定し、特定した資産に対して、当社の事業規模や事業内容に見合ったリスクアセスメント方法を定め、資産の保護のために合理的で適切な管理策を選択する。経営者はリスク受容基準及びリスクの受容可能レベルを決定する。経営者及び情報セキュリティ管理責任者は、リスクアセスメントの結果、リスクアセスメント方法やこれらの基準・水準を、組織や事業、技術、社会などの環境変化に応じて見直す。

### 【個人情報保護】

6. 当社が取り扱う個人情報を保護するための管理策を実施すると共に、法律や省庁のガイドラインに則り、個人情報の利用目的の特定と公表・通知、法令と利用目的に限定した取得、利用・提供を行う。また、個人情報に関する苦情に対応すると共に、従業員から求められた場合必要な保有個人データについての開示等の対応を行う。

### 【法令の遵守】

7. 不正競争防止法に基づいて顧客および当社の秘密情報を管理する。また、著作権法に準じて著作物の権利を尊重するためにソフトウェア等を適切に管理する。その他関連法令及び顧客との契約書の条項を遵守する。

### 【従業員の義務】

8. 役員やパート社員を含むすべての従業員は、「ISMS基本方針」および情報セキュリティマネジメントシステムに関する社内規定・手順書を遵守して行動する。違反した場合には、当社の就業規則等に則り懲戒処分を適用する。

### 【教育】

9. 経営者の指示のもと、情報セキュリティ管理責任者は、情報セキュリティに関する教育及び訓練を実施する。